

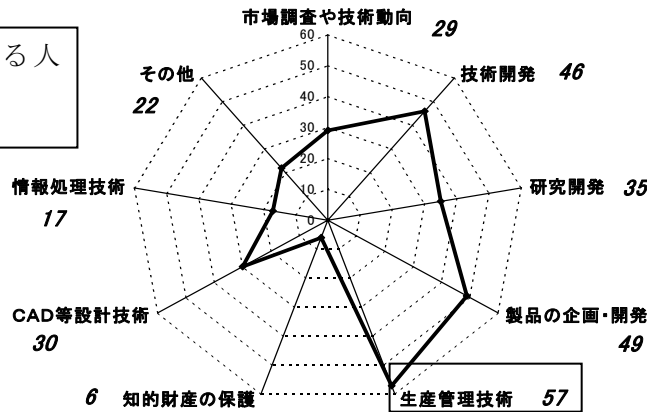
研究テーマ：中小製造業向けの生産管理システムの設計・活用とその人材育成プログラムの研究	
研究代表者（職氏名）：教授 上野信行	所属：経営情報学部経営情報学科
共同研究者（職氏名）：教授 盛岡良雄、准教授 韓虎剛、准教授 宇野健、准教授 片桐昭司	

1. 目的

ものづくり県として、IT活用による業務革新や生産性向上を推進する必要がある、生産管理に優れた人材育成の進め方を研究する。

スキルアップの必要性を感じる分野(全業種)

生産管理能力のある人材育成の必要性



<県企業訪問調査結果より>

2. 調査・研究調査

- ①県内の中小製造業に対するヒアリングを行い、生産管理システムの実情を調査した。(2社)
- ②生産管理システム構築ソフトの調査を行った。
- ③生産管理関連の市販教材(約60冊)の現状調査を行った。「理論」「実践」「開発手順・マニュアル」など多彩だが、体系的でなく、一貫性がないものが多い。

3. 研究結果

- (1) 生産管理能力を高め、ITを活用できる人材育成研修プログラムの企画・開発を行った。(広島ソフトウェアセンターと協同)
- (2) 県の事業の一環として、広島ソフトウェアセンター主催による当大学の協力により、
 - ①ものづくりITセミナー(於鯉城会館、9月12日開催)の具体化
 - ②生産管理導入研修(10月12日から10日間)の具体化(下図)。生産管理の体系習得、システム体験、ITコーディネータによる個別指導との組み合わせが特徴である。

	テーマ	内容
1	生産管理とは	生産管理能力アップのための基本的原理や手法を学習する。生産形態の分類、生産力向上のポイント、生産計画、資材調達、製造プロセス管理、在庫管理、品質向上、コスト縮減の実践的進め方を学びます。
2		
3	情報システム活用演習	代表的な生産管理ソフトウェアの活用を体験します。注文ロットまとめ、納期改善などのケースに対応した操作と結果の見方を学びます。
4		
5	生産管理業務の情報化プロセス	物の流れ、情報の流れの調査・分析の仕方、改善の着眼点、ターゲットの決め方、開発/導入のプロセス・体制等について、学びます。
6		
7	自社の情報化のための現状分析	受講者が、情報化プロセスに基づき、自社の分析を行う。
8		
9	ITコーディネータによる個別指導	ITコーディネータが「情報化のための自社の分析」について、個別に指導します。
10	自社の情報化計画に対する指導	受講者の策定された「情報化計画」を発表いただき、各社の実状にあった効果的な生産管理能力アップの観点から指導します。

4. 効果 人材育成により、中小製造業の経営革新、地域経済の活性化、情報関連産業の振興を図る